



©UNHCR/Colin Delfosse

▲スーダンからの難民(チャド共和国)。



©UNHCR/Achilleas Zavallis

▲アフガニスタンからの難民(ギリシャ)。



©UNHCR/Arna Liminowicz

▲ウクライナからの難民(ポーランド)。



©UNHCR/Saikat Mojumder

▲ロヒンギャ難民(バングラデシュ)。

# くになち平和の日 × 世界難民の日

6月20日(火)

6月21日(水)

開催期間

6月20日(火)  
～27日(火)



## くになち平和の日とは？

市では、平成31年に「国上市人権を尊重し多様性を認め合う平和なまちづくり基本条例」を施行し、「ソーシャル・インクルージョン」の理念のもと、人権と平和を市のあらゆる施策の根幹としたまちづくりを進めています。

条例に基づき、平成12年に制定した「国上市平和都市宣言」の告示日である6月21日を「くになち平和の日」、同日からの1週間を「くになち平和推進週間」として、毎年平和に関する企画を開催しています。

## 世界難民の日とは？

6月20日は、国連が定める「世界難民の日」です。「世界難民の日」は、紛争や迫害から逃れることを余儀なくされた人々の苦境に立ち向かう勇気を称える日です。困難に立ち向かい乗り越えていく難民への共感と理解を深め、難民の保護と援助に対する関心を高めるためのさまざまなイベントが世界中で開催されます。

## 「小さなまち『くになち』から 難民をかんがえる」パネル展 ～ちいさなことからおおきなこと～

日本人にとって難民は、遠い国の話のように思えるかもしれませんが。紛争や迫害によって故郷を逃れる人の数は、世界の人口の1%以上におよび近年の社会情勢により、一層増えています。平和な日常が脅かされている今、私たちには何ができるのか、展示を通して考えてみませんか。

日 6月20日(火)正午～27日(火)

場 旧国立駅舎 広間、展示室

写真提供 国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR)



主催：国上市

※本イベントはすべて無料です

# 世界難民の日 6月20日火 × くにたち平和の日 6月21日水

国連は、紛争や迫害から逃れることを余儀なくされた人々の苦境に立ち向かう勇気を称える日として、6月20日を「世界難民の日」としています。6月20日(火)～27日(火)の期間中、「平和」や「人権」を一緒に考える企画を実施します。

※本イベントはすべて無料です

## 「世界難民の日 ブルーライトアップ」

「世界難民の日」から「くにたち平和推進週間(6月21日(水)～27日(火))」の期間中、故郷を追われた人々への連帯を表すため、旧国立駅舎の南側壁面をUNHCRカラーであるブルーにライトアップします。

日 6月20日(火)～27日(火)  
各日午後5時～翌午前6時



▲過去のライトアップの様子。

## 「プレイピアノデー6月」 ×「世界難民の日」



旧国立駅舎で毎月1回テーマを設けて実施する「プレイピアノデー」。今月のテーマは、「世界難民の日」にちなんで「勇気」です。「勇気」をテーマに自由に、演奏しませんか。また、曲のリクエストも募集します。

日 6月20日(火)正午～午後6時30分(奏者の受付:午前11時～。持ち時間は1人15分)

場 旧国立駅舎 広間

【曲のリクエスト方法】

6月20日(火)までに、旧国立駅舎広間に設置のリクエストボードに記入。詳細は、リクエストボードまたは旧国立駅舎☎をご確認ください。

※選曲は奏者が行うため、リクエストした曲が必ず演奏されるわけではありません。



## 「あなたにとっての平和」 メッセージ募集

日ごろから考えていることや、展示などを見て感じたことなど、「あなたにとっての平和」を旧国立駅舎に設置するブルーのカードに書いて飾れます。旧国立駅舎をたくさんの平和でいっぱいにしましょう。

募集・掲示期間

6月20日(火)正午～27日(火)

場 旧国立駅舎 広間



▲カードのイメージ。

## 「くにたち原爆・東京大空襲体験 伝承者定期講話」



市が認定した伝承者が、市内在住の広島・長崎の原爆体験者と東京大空襲体験者から受け継いだ体験や平和への思いを、心を込めて語ります。

日 6月24日(土)午後2時～2時45分:長崎原爆の講話、午後3時～3時45分:東京大空襲の講話

※各回の伝承者は異なります。

場 旧国立駅舎 展示室

定 各回10名(申込先着順)

申 6月22日(木)までに、①参加者氏名 ▲講話の様子。

②電話番号等の連絡先③参加希望回を☎まで電話またはメール

※7月以降の開催スケジュールは、市☎をご覧ください。



～平和をつくるのは、  
きっとコトバだ。～

## 「8月6日と8月9日、原爆の日を 忘れないための一行のコトバ」募集



広島と長崎に原子爆弾が投下されてから、今年で78年目を迎えます。忘れてはならない出来事を伝え、平和を紡ぐため、「8月6日と8月9日、原爆の日を忘れないための一行のコトバ」を募集します。応募作品は選考を行い、8月に市内に展示し、後日作品集にまとめます。作品が選出された方には作品集を贈呈します。

応募方法 7月3日(月)までに、①一行のコトバ②氏名③年齢④電話番号・メールアドレス等の連絡先⑤匿名・年齢非公表を希望の場合はその旨を明記のうえ、☎まで郵送またはメール

※詳細は、市☎をご覧ください。



▲市☎。

## ▶ 旧国立駅舎

JR中央線「国立駅」南口 徒歩1分

平日	広間 展示室	午前7時～午後10時まで 午前10時～午後7時まで
土・日	広間 展示室	午前9時～午後10時まで 午前9時～午後7時まで



問

国立市役所 政策経営部 市長室 平和・人権・ダイバーシティ推進係

電話：042-576-2111 内線:229・256 / FAX：042-576-0264

メール：sec\_diversity@city.kunitachi.lg.jp